

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学 校 名 新 居 浜 市 立 船 木 小 学 校  
(※正式名称を記載)

種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 7 9 2 - 0 8 5 6  
愛媛県新居浜市船木4 2 9 9 番地の1

E-mail fki-eof@esnet.ed.jp

Website <http://funaki-e.esnet.ed.jp/cms/>

児童生徒数 男子 169 名 女子 195 名 合計 364 名  
児童・生徒の年齢 6 歳～ 1 2 歳

## 2. 活動の内容

(1) 活動の概要 ※チェック事項 1-1, 2-1 に対応

当校は、「ふれあい ～ふるさと船木の自然や人～」を活動テーマとして、E S D の実践を通してふるさと船木を見直し、親しみと愛着を深め、自分の生き方を考えることができる力の育成を目標とした。具体的には、地域、環境、福祉を柱に、①地域の伝統文化、文化遺産に係わる活動②環境に係わる活動、③食育に係わる活動、④健康・福祉に係わる活動を行った。

### ① 地域の伝統文化、文化遺産に係わる活動

「船木のじまんを見つけよう」3年  
(ねらい)

- ・ 船木の自然や文化などについての課題を見付け、主体的に探究する学習を通して、地域の一員として船木の自然や文化に誇りをもち、大切にしていこうとすることができる。

(活動の実際)

- ・ 地域の方や家族から話を聞いたり、グループで協力して資料で調べたり、実際に現地に行って調べたりしたことを「みんな大すき わくわく船木」にまとめることができた。
- ・ 発表会を行ってそれぞれが調べたことを紹介し合い、船木の自然や文化についてより一層理解を深めるとともに、地域の一員としての自覚をもち始めることができた。

### ② 環境に係わる教育

「アースケア大作戦」4年  
(ねらい)

- ・ 社会科の学習から地球環境を脅かすごみ問題について関心をもち、自分たちにできる3R 運動について調べたり実践したりして、今後も継続して

いこうとする意欲をもつことができる。

(活動の実際)

- ・ グループで課題を設定し、インターネットや図書資料などから情報を集めて実践してまとめた。また参観日に、各グループがパビリオン方式で発表し、児童や保護者に発信することができた。
- ・ 3R 運動の一環として「ごみ減量に関する支援」の出前授業を「いはいま環境市民会議」の方々にお願ひし、ダンボールコンポストでの堆肥作りを実践し、まとめて発表した。

③ 食育に係わる活動

「米作りをしよう」5年

(ねらい)

- ・ 米作りに関心をもつとともに、農家の方の苦勞や「食」に対する思いに気付き、農業について考えることができる。

(活動の実際)

- ・ 農家の方に助けていただきながら、手作業の田植えや稲刈り体験を行うことで農家の方の苦勞や思いを感じ取り、「食」についての考えを深めることができた。
- ・ 収穫した米を使って招待給食を行い、米づくりでお世話になった農家の方と「食」を共にすることで感謝の思いを伝えることができた。

④ 健康・福祉に係わる活動

「高齢者とふれあおう」6年

(ねらい)

- ・ 高齢者について知り、福祉施設のお年寄りと交流することで、高齢者への接し方や自分の果たすべき役割を理解することができる。

(活動の実際)

- ・ 事前にお年寄りの立場に立った話し方や楽しい交流の進め方を考え、当日は主体的に活動することができた。
- ・ 施設の方のサポートを得ながら、お年寄りと交流したことで、心が通じ合うことの喜びを感じ、これからの福祉について考えることができた。



①「船木のじまんを見つけよう」



②「アースケア大作戦」



③「米作りをしよう」



④「高齢者とふれあおう」

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input checked="" type="checkbox"/> 17. その他( キャリア教育 )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

4年パンフレット「大切なあなたへ」(誕生学協会)  
4年パンフレット「生ごみ堆肥化のすすめ」(新居浜市ごみ減量課)  
4年書籍「ごみゼロ大作戦」1～6巻 監修:浅利美鈴 (ポプラ社)  
5年パンフレット「愛媛の食料と農業の話」(JA愛媛中央会組織広報部)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学年ごとにESD教育計画「ESDカレンダー」を立て、教科・道徳・特別活動との関係を考たり、年間指導計画を立て、学年間の系統を考えたりして指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めている。その際、前年度の実践を振り返り、さらに良いものになるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

外部講師や外部施設、問い合わせ先などの電話番号や住所などの一覧表を作成したり、活動の流れがわかるように指導展開例を作成したりして、誰がどの学年を担当しても継続的な活動が行われるようにしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学年で児童の活動によって作られた成果物や感想などをもとに、1年間の活動内容をまとめ、それを校内研修の時間に報告し合い、学校全体で次年度への活動計画に生かしている。その成果として、今年度は2つの学年で外部講師の新たな開発を行い、マンネリ化を打破することができた。課題としては、他の学年も新たな外部講師を取り入れていき、従来からある活動とのコラボレーションを図っていきたい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学年便りや学校便り、ホームページなどを通して、保護者、地域に活動成果を発信した。また、外部講師を招いたことにより、市で発行している ESD 通信に掲載されることになり、市内各所の関係諸機関にも発信された。その結果、保護者や地域の方々にとどまらず、市内各所から好評を得ることができた。また、講師の方々に感謝の気持ちを伝え、来年度に結びつく手ごたえを感じることができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD 活動支援センター、ESD コンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

- ・ 2 年「まちたんけん」…「公民館」「駐在所」「保育園」「寺」「コンビニエンスストア」「中学校」「薬局」(活動支援)
- ・ 3 年「花いっぱい運動」…「老人会」「愛花人」(花植え支援)
- ・ 4 年「アースケア作戦」…「にいほま環境市民会議」(ダンボールコンポストでの堆肥作り支援)
- ・ 4 年「2 分の 1 成人式をしよう」…「誕生学協会」(「誕生学プログラム」出前授業)
- ・ 4 年「心の地図を広げよう」…「新居浜市社会福祉協議会」(アイマスク体験支援)
- ・ 5 年「米作りをしよう」…「JA 新居浜」「地域の農家」(米作り支援)
- ・ 6 年「高齢者とふれあおう」…「ふたばの森」「久和園」(老人施設訪問支援)

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特にありません。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

保護者・地域・市内の様々な施設との結びつきが強くなった。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

1年生は、生活科を中心に、ふるさと船木の自然・人とのふれあいを活かした体験学習を行う。2年生も生活科を中心に、身近な地域の人々や様々な場所に関心を持ち、町探検をし、地域への愛着を深める学習を行う。3年生は、総合的な学習を中心に、地域の自然や文化などについて課題を見付け、主体的に探究する学習を行う。4年生は、障がいのある方との出会いや疑似体験・調べる活動を通して、より住みやすい町づくりのための取組について考えたり、地球環境について考え、自分たちにできる環境問題への取組を行ったりする。5年生は、米作りに関心を持ち、農家の苦労や食に対する思いに気付き、日本の農業についての知識を深める学習を行う。6年生は、高齢者についての認識を深め、福祉施設のお年寄りと豊かに交流することで、高齢者への接し方や自分の果たすべき役割を理解する学習を行う。